

「合併してもいいことない」「町がさびれないか心配」

# 天津小湊の願いを必ず届けます



しっかりと発言きちんと報告

日本共産党  
市議会議員  
(旧天津小湊町議)

## 滝口ひろあき

日本共産党の実施したアンケート。「国保税や水道料が高くて大変」「合併で健診が有料に！元に戻して」など切実な声がいっぱい寄せられました。

だれもが気軽に受けられるように

### 健診場所を増やし また無料に

合併前は、旧天津小湊地区で無料だった健康診断。合併したとたん、一カ所になり三千七百円に。今年は小湊小でも再開することになりましたが、引き続き、天津地区実施や無料化を求めています。

5億円の国保積立金を生かして

### 国保税1世帯2万円引き下げ

合併前は、計約三億円だった国民健康保険の積立金は、合併後5億円に積み増しされています。「インフルエンザ流行への備え」といいますが、これは、松戸市の15億円に次ぐ巨額。国保積立金を生かせば高い国保税の値下げは十分可能です。

病院や買い物に行けるように

### 市内循環バスの実現を

鴨川市では、ひとり暮らしの高齢者や家族介護世帯も増えています。便利で安い市内循環バスは急いで実現させなければなりません。

滝口議員の奮闘で長期計画に入れられた循環バスの早期実現で、どこに住んでいても自分で病院や買い物に出られるまちにしましょう。

まちの中小業者を応援し

### 地場産業の振興を

リゾート開発や大学誘致で、新たな働き口はどれだけ増えたでしょうか。

今必要なのは、商店街の活性化、農漁業と観光を生かした地場産業の振興や地域福祉の充実でこそ、まちは元気になります。雇用の場も広がります。

80億円

多目的公益用地でのムダ遣いは中止を！  
鴨川市財政難の原因は、市民そっちのけのリゾート開発破綻と税金で買った80億円分もの土地を大学誘致のためにタダで提供。こんなムダをやめ、くらしと福祉の充実最優先の市政をめざしましょう。



# 天津小湊の代表には やっぱり実行力のある人を

日本共産党市議会議員

## 滝口ひさお

しっかり  
発言

アンケートで頂いた願い  
毎議会で発言・提案

「高い国保税や水道料を何とかして」などアンケートで寄せられた声は、市政を変える宝。滝口議員は、毎議会でしっかり発言し、住民のために奮闘してきました

### 高齢者「憩いの家」を実現

「カラオケやお風呂で高齢者がくつろげる憩いの場を」とヘルパーの資格を持つ滝口議員が奮闘。署名運動も広がり「ほのぼの荘」や「ゆったりほのぼの」が実現しました。

### 小湊小での総合健診を復活

「日本共産党市民アンケート」に寄せられた「健診にバスで行くのは大変。元に戻して」の声。滝口議員は、議会で取り上げ、アンケートを示し市と直接交渉。住民の声を届けて、小湊小での健診が復活しました。

旧天津小湊選出市議会  
合併後の一般質問回数

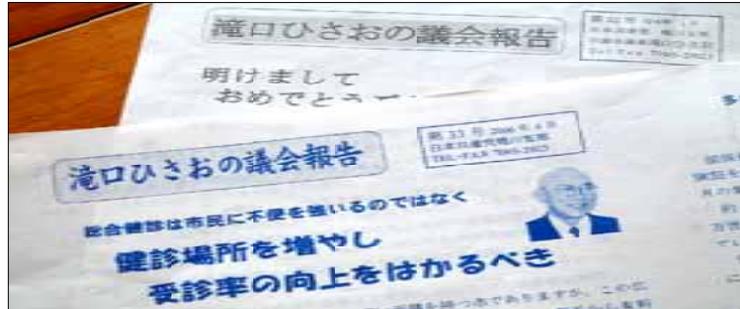
滝口ひさお	4回
松本良幸	2回
辰野利文	1回
大和田智	1回
麻生政広	1回
吉田勝敏	0回
西川和広	0回

きちんと  
報告

議会の様子お知らせし  
住民と力を合わせ

なれあい・飲み食いを厳しく追及  
滝口さんが議員になるまでの天津小湊町議会では、議員が税金で寿司を食べたり、芸者呼んでの宴会が繰り返されていました。滝口議員は、自分で寿司代を払い、追及してなれあいをやめさせました。

議員になって八年あまり。毎議会の結果を「議会報告」でみなさんにお知らせ。「議会だけにまかせられない」と住民運動を励ましてきました。



### 3336人分の署名で 巨大養鶏場ストップ

昨年発覚した内浦地区での二百万羽もの「巨大養鶏場計画」。滝口市議は、「糞害や鳥インフルエンザが心配」の声に応じて先頭に立って「建設反対」の立て看板を設置。漁業協同組合・鯛の浦協業組合・観光協会・旅館組合など各団体とともに、市はじまって以来の署名、三千三百三十六人分を市に提出。業者は、ついに建設を断念しました。

養鶏場問題では、滝口さんが勇気をもってリーダーシップをとって環境を守ってくれました。こういう議員が絶対必要です。  
(ホテル経営者)

これまでの三倍、四倍のご支援が必要です。

今度ばかりは  
しがらみ越えて

# 滝口ひさおへ